



## 機能アクセス コードの設定

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) における機能アクセス コードのサポートについて説明します。

### このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[機能アクセス コードの機能情報](#)」(P.1151) を参照してください。

## 内容

- 「[機能アクセス コードについて](#)」(P.1145)
- 「[機能アクセス コードの設定方法](#)」(P.1147)
- 「[機能アクセスコードの設定例](#)」(P.1149)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.1150)
- 「[機能アクセス コードの機能情報](#)」(P.1151)

## 機能アクセス コードについて

機能アクセス コードをイネーブルにするには、次の概念について理解しておく必要があります。

- 「[機能アクセス コード](#)」(P.1145)

## 機能アクセス コード

機能アクセス コード (FAC) とは特別なパターンの文字であり、これを電話機のキーパッドからダイヤルして、特定の機能呼び出します。たとえば、電話機ユーザが **\*\*1** を押した後に **2345** を押すと、すべての着信コールが内線 **2345** に転送されます。

通常、FAC はアナログ電話機のキーパッドを使用してダイヤルされた、短い番号シーケンスを使用し呼び出されますが、IP Phone ユーザはソフトキーを選択して同じ機能呼び出します。

Cisco Unified CME 4.0 以降では、アナログ電話機で使用できるものと同じ FAC を IP Phone でイネーブルにできます。これにより、電話機ユーザは、電話機のタイプに関係なく、同じ方法で特定の機能を選択したり、機能をアクティブ化/非アクティブ化することができます。

FAC は明示的にイネーブルに設定されるまで、IP Phone でディセーブルになっています。Cisco Unified CME に登録されているすべての SCCP 電話機に対してすべての標準 FAC をイネーブルにできます。また、カスタム FAC またはエイリアスを定義して、1 つ以上の FAC を個別にイネーブルにすることもできます。

コール パーク FAC 以外のすべての FAC は、電話機がオフフックされるとすぐに有効になります。コール パーク FAC はコール パーク スロットへの転送であると見なされるため、[ 転送 (Trnsfer) ] ソフトキー (IP Phone の場合) またはフックフラッシュ (アナログ電話機の場合) を使用して転送を開始した後だけ有効になります。

表 100 に、事前定義された標準 FAC のリストを示します。

表 100 標準 FAC

標準 FAC	説明
**1 と任意の内線番号	すべてのコールを転送します。
**2	すべてのコールの転送をキャンセルします。
**3	ローカル グループをピックアップします。
**4 とグループ番号	指定したピックアップ グループ内で呼び出し中のコールをピックアップします。指定するピックアップ グループは、Cisco Unified CME で事前に設定されている必要があります。
**5 と内線番号	直通内線をピックアップします。
**6 と任意のパーク スロット番号	電話機ユーザがアクティブなコールを行っているときに、この FAC をダイヤルする前に [ 転送 (Transfer) ] ソフトキー (IP Phone の場合) またはフックフラッシュ (アナログ電話機の場合) を押すと、コール パークになります。対象のパーク スロットは、Cisco Unified CME で事前に設定されている必要があります。
**7	サイレント。
**8	リダイヤル。
**9	ボイスメール番号にダイヤルします。
*3 とハン ト グループ パイロット番号	ephone ハン ト グループに参加します。動的メンバーシップを行える複数のハン ト グループがすでに作成されている場合、参加するハン ト グループはそのパイロット番号で識別されます。
*4	ハン ト グループ エージェントがオフフックの場合に、ハン ト グループのログアウト機能をアクティブ化または非アクティブ化して、内線の受信可/受信不可ステータスを切り替えます。
*5	電話機がアイドル状態の時に、電話機レベルのハン ト グループ ログアウトをアクティブ化または非アクティブ化して、ephone ハン ト グループのメンバである、個々の電話機内のすべての内線の受信可/受信不可ステータスを切り替えます。
*6	ボイスメール番号にダイヤルします。
#3	ephone ハン ト グループから脱退します。電話番号または内線番号が、ハン ト グループの動的メンバとして事前に設定されている必要があります。

# 機能アクセスコードの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「SCCP : 機能アクセスコードのイネーブル化」 (P.1147)
- 「機能アクセスコードの確認」 (P.1148)

## SCCP : 機能アクセスコードのイネーブル化

標準 FAC をイネーブルにするか、カスタム FAC を作成するには、次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `telephony-service`
4. `fac {standard | custom {alias alias-tag custom-fac to existing-fac [extra-digits]} | feature custom-fac}`
5. `end`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>telephony-service</code>  例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ4</b> <code>fac {standard   custom {alias alias-tag custom-fac to existing-fac [extra-digits]}   feature custom-fac}</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-telephony)# fac custom callfwd *#5</p>	<p>標準 FAC をイネーブルにするか、カスタム FAC またはエイリアスを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>standard</b> : すべての電話機に対して、標準 FAC をイネーブルにします。</li> <li>• <b>custom</b> : FAC タイプのカスタム FAC を作成します。</li> <li>• <b>alias</b> : 既存の FAC のカスタム FAC を作成するか、既存の FAC と追加番号を作成します。</li> <li>• <b>alias-tag</b> : このエイリアスを一意に識別する番号。範囲 : 0 ~ 9。</li> <li>• <b>custom-fac</b> : IP Phone またはアナログ電話機のキーボードを使用してダイヤルする、ユーザ定義のコード。カスタム FAC は最大で 256 文字の長さにすることができ、0 ~ 9 の数字と、* および # を使用できません。</li> <li>• <b>to</b> : カスタム FAC を指定したターゲットにマップします。</li> <li>• <b>existing-fac</b> : 電話機ユーザが、設定されたカスタム FAC をダイヤルすると自動的にダイヤルされる事前定義されたカスタム FAC。</li> <li>• <b>extra-digits</b> : (任意) 電話機ユーザが、設定されたカスタム FAC をダイヤルすると自動的にダイヤルされる追加番号。</li> <li>• <b>feature</b> : 特定のフィーチャまたは機能を特定するための、事前定義された英数字。? を入力すると、リストが表示されます。</li> </ul>
<p><b>ステップ5</b> <code>end</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-telephony)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## 機能アクセス コードの確認

FAC コンフィギュレーションを確認するには、次の手順を実行します。

### ステップ 1 show telephony-service fac

このコマンドにより、Cisco Unified CME ルータに設定されている FAC のリストが表示されます。次に、標準 FAC がイネーブルになっている場合の出力の例を示します。

```
Router# show telephony-service fac
```

```
telephony-service fac standard
callfwd all **1
callfwd cancel **2
pickup local **3
pickup group **4
pickup direct **5
park **6
```

```
dnd **7
redial **8
voicemail **9
ephone-hunt join *3
ephone-hunt cancel #3
ephone-hunt hlog *4
ephone-hunt hlog-phone *5
trnsfvm *6
```

次に、カスタム FAC が設定されている場合の出力の例を示します。

```
Router# show telephony-service fac
```

```
telephony-service fac custom
callfwd all #45
alias 0 #1 to **4121
alias 1 #2 to **4122
alias 4 #4 to **4124
```

## 機能アクセスコードの設定例

ここでは、次の設定例を示します。

- 「FAC : 例」 (P.1149)

### FAC : 例

次に、すべての電話機に対して標準 FAC をイネーブルにする例を示します。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac standard
fac standard is set!
Router(config-telephony)#
```

次に、すべてのコールの転送機能の標準 FAC がカスタム FAC (#45) にどのように変更されるかを示す例を示します。その後、エイリアスが作成されて、2 番目のカスタム FAC が #45 と内線 (1111) にマップされます。カスタム FAC (#44) によって、電話機ユーザは #44 を押すことで、すべてのコールを内線 1111 に転送できます。電話機ユーザは、内線番号をさらにダイヤルする必要がありません。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac custom callfwd all #45
fac callfwd all code has been configured to #45
Router(config-telephony)# fac custom alias 0 #44 to #451111
fac alias0 code has been configured to #44!
alias0 map code has been configured to #451111!
```

次に、グループ 123 のグループピックアップのエイリアスを定義する方法を示します。このエイリアスは標準 FAC の番号 #4 をグループピックアップ (\*\*4) に置き換え、グループ番号 (123) をダイヤルパターンに追加します。このカスタム FAC を使用して、電話機ユーザは標準 FAC の \*\*4 とグループ番号 123 をダイヤルする代わりに、#4 をダイヤルしてグループ 123 の呼び出し中のコールをピックアップできます。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac custom alias 5 #4 to **4123
```

## その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified CME Command Reference』</li> <li>『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』</li> </ul>
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Command Reference』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』</li> </ul>
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Configuration Library』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』</li> </ul>
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』</li> </ul>

### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニカル サポートを受ける</li> <li>・ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> <li>- Product Alert の受信登録</li> <li>- Field Notice の受信登録</li> <li>- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>・トレーニング リソースへアクセスする</li> <li>・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

## 機能アクセスコードの機能情報

表 101 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm) にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 101 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 101 機能アクセスコードの機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
ボイスメールへの転送。	7.0/4.3	ボイスメールに転送するための FAC が追加されました。
機能アクセスコード (FAC)	4.0	FAC が導入されました。

